

TOKIORI通信

寒さが厳しくなってきました。今年も残すところあとわずかとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今年は恒例の忘年会なども中止せざるを得ず、寂しい年末となっている方も少なくないのではないのでしょうか。もうしばらくは我慢の時！このような状況ではありますが、どうぞ皆さま寒さに負けず終息まで乗り切りましょう！（コーディネーター：池田）

ご存じですか？

じつは冬こそ「カビ対策」が大切！？ 乾燥する季節に発生しやすいカビとは？

乾燥する冬、カビ対策とは無縁のシーズン……と思いがちですが、じつは冬もカビ発生のリスクが潜んでいるんです。カビの問題というと、梅雨を始めジメジメした時期のイメージがあるかもしれませんが、でも、住宅の事情によっては、結露が原因で冬にもカビが発生する恐れがあります。

冬カビの原因は結露とホコリ！！

冬は屋内外の気温差が大きく、気が付くと窓が結露でびっしょりなんてこともありますよね。とはいえ、結露だけがカビの原因ではありません。

じつは、冬カビはホコリが大好き！

窓の表面に付いた汚れやホコリ、水分がエサとなり、カビが発生してしまいます。



冬を快適に過ごすために

カビが生えないようにする対策は意外と簡単です。毎日のちょっとした工夫で、カビが繁殖しづらくなる対策を TOKIORI が、お教えいたします！

必見！日頃やっておくべき 寒い季節のカビ対策 4か条

次へ➡



窓際は、外気からの砂ホコリや排気ガスなどがたまり、内側からは家の中のホコリと、両側からの汚れの吹きだまりとなる場所です。日頃から、できるだけこまめに汚れを拭き取ることが必要になります。

その二、
ホコリと汚れは
除去すべし

できるだけ窓を開けて換気を促すか、換気扇やサーキュレーターを積極的に利用して、空気を循環させることを心がけましょう。

その一、
こまめに
換気すべし



結露ができないように冷えない窓にしてあげることが大事です。例えば、結露を防止するシートを貼り付けたり、窓用ヒーターを取り付けることも有効。また、サーキュレーターの風を利用して、窓際に水蒸気を停滞させない工夫もあります。

その四、
窓の温度を
下げてはならぬ

長時間の暖房や加湿器で高温多湿な室内は、水蒸気をたくさんかかえている状態ですから、結露がでやすい状況になってしまいます。ご注意ください！

その三、
部屋の高温多湿に
注意すべし



それでも、「カビを見つけてしまったら・・・！」

カビを見つけたら、すぐに拭き取りましょう。初期の段階なら、水拭きをすることで物理的に取り除くことができます。窓用洗剤やカビ取り剤（飛び散りが少ないジェル状がおすすめ）を使ってもいいですよ。

結露によるカビは住宅設備にダメージを与えるだけでなく、人体にも影響が及ぶ可能性もあります。この季節の換気は消極的になりがちですが、着るものを暖かくしてから、感染症予防もかねて、タイミングをみながら行っていきましょう。



お申し込み・お問い合わせは

0120-690-389

9:00～18:00（土日も営業）

TOKIORI トキオリ 浜田山

〒168-0072 東京都渋谷区高井戸東4丁目27番17号



介護や家事のこと
なんでもご相談ください